

【新刊のご案内】

「歴史をなぜ学ぶのか」、そして 私はどう生きるか 平山祐人

今、世界は、その中の日本は、「危険な時代」に突入しました。こんなに忙しい時代^{いそが}だけど、少しばかり暇^{ひま}を創って、立ち止まって、考えてみませんか。それは「人間の歴史」を通して、「今を私が生きる」ことです。(中略)

「私たち」はその大地を破壊しかけています。資源を奪い続け、大気や森林や海中を犯し、気候が狂ってきています。SNSの情報に振り回され、権力や利を追求する人がそれを先導し、「私」が無批判にそれに乗っかり、危険な世の中になっています。「文明」の行きついた先、「国家」の行きついた先、「権力」の行きついた先が、今、ここなのです。いったい、どうしたらよいのか！

だから、「私」は考えなければならない。「人間の歴史」を通して、「私が生きる」ことを。人間の知恵、知性、さらには膨大な失敗が教訓になって、「私たち」に響いてきますから。



著者略歴 平山 裕人 (ひらやま ひろと)
1958年、北海道小樽市で誕生。
1974年、小樽桜陽高校入学。「学力」「偏差値」ではなく、「学びのおもしろ・深さ・視点」を重視した教育を受ける。1977年、北海道教育大学入学。南部昇先生に歴史学のイロハ、佐藤宥紹先生に「近世」北海道史のイロハを学ぶ。

- 日本史・東洋史・西洋史の研究室の仲間たちと、さまざまな自主ゼミをつくり、濃密な時間を過ごす。1981年から38年間の小学校教員
- 1990年から5年間～札幌アイヌ語教室で白沢ナベさん、中本ムツ子さんからアイヌ文化の見方を学ぶ。
- 1993年から10年間～中村和之氏主催の『北方の歴史と文化を考える会』で北方史の専門家の発表を聞く。
- 1996年から25年間～川瀬信五氏に誘われて『歴史学同好会』を結成。郷土史・日本史・世界史のさまざまな分野の発表を聞く。
- 1998年～2018年、小樽市教育研究会社会科部会で小樽市内の史跡、小樽教育地図研究会で近隣の街の史跡・博物館を見学。
- 1998年から2019年～教職員組合の全道合研・社会科分科会で多くのすぐれた実践を知り、これからの社会について議論していった。
- 2019年～家でひっそりと小学校向け、大人向けの歴史塾（コロボックル学びの家）を開く。
- 各地の小学校や、NPO法人自由学校「遊」などで、アイヌ史やアイヌ文化に関連するお話をし、余生を送る。

「歴史をなぜ学ぶのか」、そして 私はどう生きるか／目次

はじめに

一章 人類の基層文化

二章 文明の出現

三章 都市国家

四章 王朝国家の始まり

五章 王朝国家の動揺

六章 私はどう生きるか

(1) 近代への眼差し

(2) 現代に突き付けられた問題

(3) そして、私はどう生きるか

あとがき

人間の歴史・年表

平山裕人(67歳)の特筆すべき実績

2025年7月小樽市天狗山市営墓地にアイヌ民族の遺骨20人分が埋葬された。和人ながらアイヌ民族の友人と、遺骨返還を実現させる為のアイヌ団体「インカルシベの会」(アイヌ語で「眺める処」)を立ち上げ、137年ぶりの遺骨帰郷を実現させた。

貴店番線	発行:藤田印刷エクセレントブックス TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546	
月	「歴史をなぜ学ぶのか」、そして 私はどう生きるか 平山祐人	2026年3月14日 第1刷発行 発行所 藤田印刷エクセレントブックス 判型 A5判(160頁)
日		
冊	定価1,980円(税込) ISBN 978-4-86538-185-6 C0020 ¥1800E	

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177まで